

雪

先週の木曜日から金曜日にかけて、東京でも雪が降りました。今朝も雪がぱらついたようです。今年は全国的に雪が多く、寒い日が多いような気がします。

1月、2月のこの寒い時期、日本では大雪のニュースが聞かれます。この前も、たくさん雪が降る地方で強い風が吹いて、積もっていた雪と降ってくる雪が舞い上がって、ホワイトアウトという現象が起きたというニュースがありました。

さて、皆さんは雪の正体を知っていますか？雪はこのようなものと説明ができますか。この機会に少しだけ、雪について調べてきました。

雪は大気中の水分が氷の結晶となって空から落ちてくる天気のこと。一般的に、気温が0度以下で、乾燥していると雪になるそうです。

雪のほかに「あられ」や「ひょう」がありますが、これは氷の粒が空から降ってくるものなのです。氷の結晶と氷の粒の違いがあります。

氷の結晶は空気が多く含まれていて、氷の粒は空気があまり含まれていないのだそうです。空から降りてくる時の「雪」や「あられやひょう」の速さをみると、何となくその意味がわかりますね。

また、雪の状態を細かく表した表現もあるのです。さらさらとした粉末状の雪を「こな雪」、手でちぎった綿のように大きな雪を「わた雪」、水分が多くべちゃちゃとした雪を「べた雪」等とといいます。

日本は、世界の中でも最も雪が降る国の一つです。だから、雪合戦をしたり、雪だるまをつくったり、スキーをしたりする楽しみがあります。今行われているオリンピックも、雪や氷の上で行う競技がほとんどですね。日本人も活躍しています。

でも反面、大雪が降って電車が止まったり、滑って転んでしまったり、屋根の雪をはらう雪下ろしをしたりしなければいけません。いいことばかりではないようです。

そんな中でも、雪が多い地域に住んでいる日本人は、昔から雪を楽しみ、上手に付き合ってきたようです。